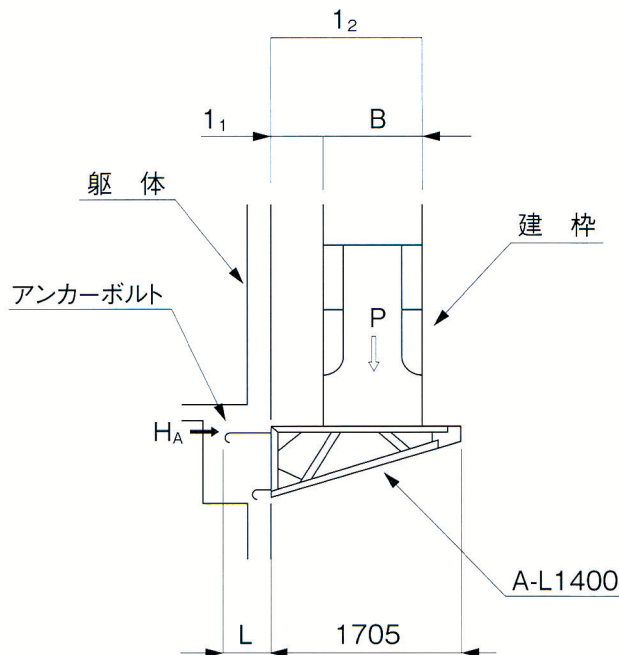


●A-L1400ブラケットの場合

●組立て図例



—左図及び下表において—

- 1₂ 躯体から建柱の外側脚注までの距離 (cm)
〔ただし、最大で約122cm以下とする〕
- 1₁ 躯体から建柱の内側脚注までの距離 (cm)
- B 建柱 (cm)
- P 許容荷重 (kg)
- H_A アンカーボルトの引抜き強さ (kg)
- L アンカーボルトの埋込み長さ (cm)

A-L1400ブラケットの場合										
位置	建柱	4055B			3055A			617R		
		B=121.9cm			B=91.4cm			B=61.0cm		
1 ₁ cm		Pkg	H _A kg	Lcm	Pkg	H _A kg	Lcm	Pkg	H _A kg	Lcm
20		事実上、組立不可能			4000	4959	30	5000	4765	29
25					//	5336	32	//	5236	32
30					//	5713	35	//	5708	35
35					1 ₁ が31cm以上は組立不可			//	6180	37
40								//	6651	40
45								//	7123	43
50								4702	7142	//
55								4427	//	//
60								4183	//	//
65								61cm以上は組立不可		

注1.アンクルブラケットが、建柱の全スパンの真下に配置される場合で、簡易枠を使用する時は、上表の許容荷重Pは簡易枠の許容強度3500kgが使用限度になるので、注意のこと。

4.その他

- (1) アンクルブラケット上に大引材(H鋼、ビーム等)を敷き、枠組足場数スパンおきにブラケットを配置する場合は、ブラケット1基に架かる荷重の合計が、3-(1)及び(2)の表のPkg以下になること。さらに、別途、大引材の強度チェックを行うこと。
- (2) アンカーボルトについて、標準使用は径が1インチ(φ25.4)のフック付き埋込みボルトである。なお、都合によって市販の短いアンカーボルトを使用する場合は、1本あたりの許容引抜き耐力が表H_Aの以上とし、且つ許容せん断力がP/4以上のものであること。また、アンカー取付穴径はφ27であり、注意すること。